

認定校だより 日本工業大学 <https://www.nit.ac.jp/>

日本工業大学について



日本工業大学は、1907年（明治40年）に東京神田に開校された東京工科学校を前身として、1967年（昭和42年）に埼玉県宮代町に開校されました。学園創立からは、110年以上の歴史ある大学です。

本学の建学の精神・理念を要言すると、「工学における実学を重んじ、具象を離れることなく、抽象を怠ることなく、単に机上にとどまることなく、真に有用な教育研究を推進し社会に貢献する」となります。

このような精神・理念のもと、本学では特徴的な教育を行っており、1年次から4年までの4年間、専門教育が学べる、日本でも珍しいカリキュラムを提供している大学です。さらに、専門科目の実験実習を1年次から行ない、実験・実習と工学理論を同時に学ぶことで、工学への理解を深める教育も行っております。

日本工業大学 建築学科の教育



日本工業大学 建築学科の教育で特徴的なものは、4年間設計製図が履修できるカリキュラムを提供していることです。また、学生一人一台の製図台を個人専用で使用できるように、設備も整えています。

このような環境の中で、学生は、授業の合い間や放課後など、空いている時間に自分専用の製図台で、好きなだけ設計に取り組むことができます。モチベーションが高い学生が多いため、本学建築学科の製図室の明かりは、夜遅くまで消えることはありません（現在はコロナ対策として21時までには時間制限されています）。

さらに、構造実験室や環境実験室なども充実しています。実物大の家具などが作製できるインテリアデザインラボでは、様々な道具を使用して、自らデザインした作品を制作している学生が多く見られるなど、活気のある学科です。

積算授業の紹介



日本工業大学では 3 年生の後期に積算や建築経済を学ぶ「建築積算」を開講しており、2022 年度は 138 名が履修しております。

シラバスは数量計算や工事費算定方法を習得し、建築プロジェクトの基本的な施工やコストのマネジメントについて理解を深めることを目的として作成されています。

授業は実務的な視点で行われ、最初に建築市場のフローからストックへの変化や建築技術者の業務分野の拡大、そこで求められる積算技術などを伝えます。積算が建築のライフサイクル全般に有効であることを理解した上で、数量計測や内訳書作成等の技術を学び、図面から数量計算書を作成する演習では、現場写真や身近な事例を通じて理解を深めています。また、値入れに必要な刊行物や統計資料の種類及び活用方法を体系的に学び、概算から精積算までのコスト管理を行う基礎知識も習得します。

実務的な積算の基礎技術を有していることは、就職活動はもちろんですが卒業後の実務でも十分役立つものと考えています。

日本工業大学 建築学部 建築学科

担当教員：橋本真一（株式会社エムズラボ代表）

担当科目：「建築積算」

日本工業大学 HP：<https://www.nit.ac.jp>